

資料 2 - 1

1 大阪の副首都化に向けた「中長期的な取組み方向」の検討について

(1) 4月の副首都推進本部会議で「副首都の概念」をとりまとめ

副首都・大阪の意義

『大阪から日本を変える。大阪から世界へ発信する。』

東京を頂点とするピラミッド型の国土構造・社会構造・価値観を大きく転換し、わが国が抱える社会問題を解決する先導役を果たすため、**東京とは異なる個性・新たな価値観をもって、世界で存在感を発揮する「東西二極の一極」として、平時にも非常時にも日本の未来を支え、けん引する成長エンジンの役割を果たす。**

副首都・大阪の役割

- (1) 「西日本の首都」(分都)として、中枢性・拠点性を高める。
- (2) 「首都機能のバックアップ」(重都)として、平時を含めた代替機能を備える。
- (3) 「アジアの主要都市」として、東京とは異なる個性・新たな価値を発信する。
- (4) 「民都」として、民の力を最大限に活かす都市を実現する。

(2) 現在の検討状況

大阪が上記の役割を果たすため、副首都に求められる機能やそれを支える制度・仕組みを整理中

【機能面】

産業・経済、都市魅力、都市インフラ、学術文化、人材・雇用、情報・メディア、防災・危機管理 など

【制度面】

民間活動の促進、広域機能・基礎機能の充実、国からの権限移譲・国機関移転、法制度の検討 など

2 副首都に求められる機能としての府市機関の再編について

大阪が、世界で存在感を発揮する「東西二極の一極」となり、日本の成長を支え、けん引する成長エンジンをめざすためにも、成長戦略の一環として、府市の機関を再編し、機能強化を図ることが求められる

大阪府立大学と大阪市立大学
大阪府立産業技術総合研究所と大阪市立工業研究所
大阪府立公衆衛生研究所と大阪市立環境科学研究